2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年11月９日

上 場 会 社 名	株式会社豊和銀行	上場取引所	福
コ ー ド 番 号	8559	URL	https://www.howabank.co.jp/
代　　表　　者	(役職名) 取締役頭取	(氏名) 権藤　淳	
問合せ先責任者	(役職名) 執行役員総合企画部長	(氏名) 神野　康弘	(TEL) 097-534-2611
半期報告書提出予定日	2026年11月19日	配当支払開始予定日	―

特定取引勘定設置の有無　　無
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	6,308	8.9	689	7.8	348	△14.8
2026年３月期中間期	5,792	6.6	639	△36.3	408	△54.0

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	59.13	7.90
2026年３月期中間期	62.27	8.09

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	595,485	27,816	4.7	986.95
2026年３月期	596,133	27,804	4.7	922.30

(参考) 自己資本　2027年３月期中間期　27,816百万円　2026年３月期　27,804百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末株式引受権-期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	0.00	―	10.00	10.00
2027年３月期	―	0.00			
2027年３月期(予想)			―	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．2027年３月期の業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通　期	1,220	1.0	830	1.3	70.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：	無
②　①以外の会計方針の変更	：	無
③　会計上の見積りの変更	：	無
④　修正再表示	：	無

（２）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	5,944,490 株	2026年３月期	5,944,490 株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	51,032 株	2026年３月期	50,630 株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	5,893,692 株	2026年３月期中間期	5,894,141 株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第18条第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間については、第2種中間財務諸表を作成しております。

2. 本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

（Ｂ種優先株式）

	１株当たり配当金				
（基準日）	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	年間
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	0　00	―	8　00	8　00
2027年３月期	―	0　00			
2027年３月期（予想）			―	8　00	8　00

（Ｄ種優先株式）

	１株当たり配当金				
（基準日）	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	年間
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	0　00	―	177　80	177　80
2027年３月期	―	0　00			
2027年３月期（予想）			―	228　10	228　10

（Ｆ種優先株式）

	１株当たり配当金				
（基準日）	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	年間
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
2026年３月期	―	0　00	―	185　00	185　00
2027年３月期	―	0　00			
2027年３月期（予想）			―	185　00	185　00

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 5
（１）経営成績に関する説明 …… 5
（２）財政状態に関する説明 …… 5
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 5
２．中間財務諸表及び主な注記 …… 6
（１）中間貸借対照表 …… 6
（２）中間損益計算書 …… 7
（３）中間株主資本等変動計算書 …… 8
（４）中間財務諸表に関する注記事項 ……10
（継続企業の前提に関する注記） ……10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） ……10

※2027年３月期第２四半期決算説明資料

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

経常収益は、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加等により、前年同期比５億15百万円増加し、63億８百万円となりました。

一方、経常費用は、預金利息の増加等により、前年同期比４億65百万円増加し、56億18百万円となりました。

この結果、経常利益は前年同期比49百万円増加の６億89百万円となり、中間純利益は同60百万円減少の３億48百万円となりました。

（２）財政状態に関する説明

総資産は前事業年度末比６億47百万円減少し、5,954億85百万円となりました。

預金(譲渡性預金を含む)は、個人預金の減少等により、前事業年度末比15億50百万円減少し、5,609億99百万円となりました。

貸出金は、円滑な資金供給に努めた結果、前事業年度末比27億20百万円増加し、4,421億77百万円となりました。

有価証券は、前事業年度末比34億42百万円増加し、1,162億７百万円となりました。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年５月14日に公表いたしました2027年３月期通期の業績予想に変更はありません。

２．中間財務諸表及び主な注記

（１）中間貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 (2026年３月31日)	当中間会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
現金預け金	40,131	33,651
有価証券	112,765	116,207
貸出金	439,457	442,177
その他資産	773	888
その他の資産	773	888
有形固定資産	5,992	5,911
無形固定資産	252	282
前払年金費用	583	594
繰延税金資産	775	382
支払承諾見返	283	312
貸倒引当金	△4,882	△4,923
資産の部合計	596,133	595,485
負債の部		
預金	557,550	555,258
譲渡性預金	5,000	5,741
その他負債	4,777	5,630
未払法人税等	198	206
リース債務	118	107
資産除去債務	150	150
その他の負債	4,309	5,165
賞与引当金	258	282
再評価に係る繰延税金負債	458	443
支払承諾	283	312
負債の部合計	568,328	567,669
純資産の部		
資本金	13,495	13,495
資本剰余金	4,352	4,352
資本準備金	4,352	4,352
利益剰余金	10,469	10,421
利益準備金	1,368	1,453
その他利益剰余金	9,101	8,968
繰越利益剰余金	9,101	8,968
自己株式	△93	△93
株主資本合計	28,224	28,176
その他有価証券評価差額金	△1,279	△1,188
土地再評価差額金	860	828
評価・換算差額等合計	△419	△359
純資産の部合計	27,804	27,816
負債及び純資産の部合計	596,133	595,485

（２）中間損益計算書

（単位：百万円）

	前中間会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
経常収益	5,792	6,308
資金運用収益	4,722	5,368
（うち貸出金利息）	4,253	4,706
（うち有価証券利息配当金）	367	503
役務取引等収益	618	682
その他業務収益	13	2
その他経常収益	438	254
経常費用	5,153	5,618
資金調達費用	504	889
（うち預金利息）	501	874
役務取引等費用	553	544
その他業務費用	164	28
営業経費	3,421	3,497
その他経常費用	509	658
経常利益	639	689
特別利益	―	31
固定資産処分益	―	31
特別損失	15	29
固定資産処分損	0	0
減損損失	15	29
税引前中間純利益	624	691
法人税、住民税及び事業税	140	152
法人税等調整額	74	190
法人税等合計	215	343
中間純利益	408	348

（３）中間株主資本等変動計算書

前中間会計期間(自　2025年４月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	13,495	11,352	―	11,352	1,274	8,882	10,157	△93	34,912
当中間期変動額									
準備金から剰余金への振替		△7,000	7,000						―
剰余金の配当					93	△560	△467		△467
中間純利益						408	408		408
自己株式の取得								△7,042	△7,042
自己株式の消却			△7,000	△7,000		△41	△41	7,041	―
土地再評価差額金の取崩						2	2		2
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）									
当中間期変動額合計	―	△7,000	―	△7,000	93	△191	△98	△0	△7,098
当中間期末残高	13,495	4,352	―	4,352	1,368	8,691	10,059	△93	27,814

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,718	862	△856	34,056
当中間期変動額				
準備金から剰余金への振替				―
剰余金の配当				△467
中間純利益				408
自己株式の取得				△7,042
自己株式の消却				―
土地再評価差額金の取崩				2
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	631	△2	629	629
当中間期変動額合計	631	△2	629	△6,468
当中間期末残高	△1,086	860	△226	27,587

当中間会計期間(自　2026年４月１日　至　2026年９月30日)

(単位：百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式	株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計		
当期首残高	13,495	4,352	4,352	1,368	9,101	10,469	△93	28,224
当中間期変動額								
剰余金の配当				85	△513	△427		△427
中間純利益					348	348		348
自己株式の取得							△0	△0
土地再評価差額金の取崩					31	31		31
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)								
当中間期変動額合計	―	―	―	85	△133	△47	△0	△48
当中間期末残高	13,495	4,352	4,352	1,453	8,968	10,421	△93	28,176

	評価・換算差額等			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,279	860	△419	27,804
当中間期変動額				
剰余金の配当				△427
中間純利益				348
自己株式の取得				△0
土地再評価差額金の取崩				31
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	91	△31	59	59
当中間期変動額合計	91	△31	59	11
当中間期末残高	△1,188	828	△359	27,816

（４）中間財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

2027年３月期
第２四半期決算説明資料

いちばんに、あなたのこと。
豊和銀行

【目　　次】

頁

Ⅰ 2027年３月期第２四半期決算の概要
１．損益状況 ・・・・・・・・・ 1
２．業務純益 ・・・・・・・・・ 2
３．利鞘 ・・・・・・・・・ 2
４．有価証券関係損益 ・・・・・・・・・ 2
５．ＲＯＥ ・・・・・・・・・ 2
６．自己資本比率 ・・・・・・・・・ 3
７．業績予想 ・・・・・・・・・ 3

Ⅱ 貸出金等の状況
１．貸倒引当金等の状況 ・・・・・・・・・ 4
２．金融再生法開示債権及び引当率、保全率 ・・・・・・・・・ 4
３．自己査定結果 ・・・・・・・・・ 5
４．業種別貸出状況等
①業種別貸出金 ・・・・・・・・・ 6
②業種別金融再生法開示債権 ・・・・・・・・・ 6
５．国別貸出状況等 ・・・・・・・・・ 6
６．預金、貸出金の平均残高 ・・・・・・・・・ 7
７．法人、個人別預金内訳 ・・・・・・・・・ 7
８．有価証券の評価損益 ・・・・・・・・・ 7

Ⅲ その他
１．役職員数及び店舗数について ・・・・・・・・・ 8
２．不良債権について ・・・・・・・・・ 8
３．投資信託、保険の販売について ・・・・・・・・・ 8

Ⅳ 地域への信用供与に関する状況
１．大分県内向け貸出金残高、先数 ・・・・・・・・・ 9
２．大分県内向け中小企業等貸出金残高、先数 ・・・・・・・・・ 9
３．大分県内向け個人ローン残高 ・・・・・・・・・ 9
４．大分県内向け業種別貸出金残高、先数 ・・・・・・・・・ 10

Ⅰ　2027年３月期第２四半期決算の概要

１．損益状況

（単位：百万円）

		2026年9月期	2025年9月期比	2025年9月期
経常収益	1	6,308	515	5,792
（貸出金利息）	2	4,706	453	4,253
（有価証券利息配当金）	3	503	135	367
（役務取引等収益）	4	682	63	618
業務粗利益	5	4,590	458	4,131
（除く国債等債券損益）	6	（ 4,607 ）	（ 334 ）	（ 4,272 ）
国内業務粗利益	7	4,582	462	4,119
（除く国債等債券損益）	8	（ 4,599 ）	（ 338 ）	（ 4,261 ）
資金利益	9	4,471	265	4,205
役務取引等利益	10	137	72	65
その他業務利益	11	△ 26	124	△ 150
国際業務粗利益	12	8	△ 3	11
（除く国債等債券損益）	13	（ 8 ）	（ △ 3 ）	（ 11 ）
資金利益	14	8	△ 3	11
役務取引等利益	15	—	—	—
その他業務利益	16	—	—	—
経費（除く臨時処理分）（△）	17	3,504	94	3,409
人件費（△）	18	2,032	86	1,945
物件費（△）	19	1,250	△ 2	1,253
税金（△）	20	221	10	211
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	21	1,086	364	721
一般貸倒引当金繰入額 ①（△）	22	△ 182	△ 45	△ 137
業務純益	23	1,268	409	858
うち国債等債券損益	24	△ 16	124	△ 141
コア業務純益（21 － 24）	25	1,103	240	863
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	26	1,103	240	863
臨時損益	27	△ 578	△ 359	△ 219
不良債権処理額(29+30-31-32-33+34) ②（△）	28	641	114	527
貸出金償却（△）	29	546	132	414
個別貸倒引当金純繰入額（△）	30	257	42	214
債権売却損益	31	—	—	—
貸倒引当金戻入益	32	—	—	—
償却債権取立益	33	187	81	106
その他（△）	34	25	20	4
（貸倒償却引当費用 ① ＋ ②）（△）	35	459	69	390
株式等損益（３勘定尻）	36	52	△ 262	315
退職給付費用（除く経費分）（△）	37	△ 6	△ 18	11
その他臨時損益	38	3	△ 0	4
経常利益	39	689	49	639
特別損益	40	2	17	△ 15
うち固定資産処分損益	41	31	31	△ 0
固定資産処分益	42	31	31	—
固定資産処分損（△）	43	0	△ 0	0
うち減損損失（△）	44	29	14	15
税引前中間純利益	45	691	67	624
法人税、住民税及び事業税（△）	46	152	11	140
法人税等調整額（△）	47	190	116	74
法人税等合計（△）	48	343	127	215
中間純利益	49	348	△ 60	408

２．業務純益

（単位：百万円）

	2026年9月期	2025年9月期比	2025年9月期
（１）業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	1,086	364	721
職員一人当たり（千円）	2,047	701	1,345
（２）業務純益	1,268	409	858
職員一人当たり（千円）	2,390	789	1,601

３．利　　鞘

（単位：％）

	2026年9月期	2025年9月期比	2025年9月期
（１）資金運用利回（A）	1.81	0.21	1.60
（イ）貸出金利回	2.14	0.17	1.97
（ロ）有価証券利回	0.85	0.24	0.61
（２）資金調達原価（B）	1.54	0.16	1.38
（イ）預金等利回	0.31	0.14	0.17
（３）預貸金利鞘	0.60	0.01	0.59
（４）総資金利鞘（A）－（B）	0.27	0.05	0.22

（国内部門）

（単位：％）

	2026年9月期	2025年9月期比	2025年9月期
（１）資金運用利回（A）	1.81	0.22	1.59
（イ）貸出金利回	2.14	0.17	1.97
（ロ）有価証券利回	0.85	0.24	0.61
（２）資金調達原価（B）	1.54	0.16	1.38
（イ）預金等利回	0.31	0.14	0.17
（３）預貸金利鞘	0.60	0.01	0.59
（３）総資金利鞘（A）－（B）	0.27	0.06	0.21

４．有価証券関係損益

（単位：百万円）

	2026年9月期	2025年9月期比	2025年9月期
国債等債券損益	△ 16	124	△ 141
売却益	2	△ 11	13
償還益	—	—	—
売却損	19	△ 135	154
償還損	—	—	—
償却	—	—	—
株式等損益（３勘定尻）	52	△ 262	315
売却益	52	△ 264	316
売却損	—	—	—
償却	—	△ 1	1

５．ＲＯＥ

（単位：％）

	2026年9月期	2025年9月期比	2025年9月期
業務純益ベース(一般貸倒引当金繰入前)	7.79	3.12	4.67
業務純益ベース	9.09	3.54	5.55
中間純利益ベース	2.49	△ 0.15	2.64

$$ROE = \frac{\text{業務純益（中間純利益）} \div 183 \times 365}{\text{（期初純資産+期末純資産）} \div 2} \times 100$$

６．自己資本比率

（単位：百万円、％）

	2026年9月末 ［ 速報値 ］	2026年3月末比	2025年9月末比	2026年3月末	2025年9月末
自己資本比率 ① ÷ ②	8.45	0.09	△ 0.10	8.36	8.55
自己資本 ①	29,143	300	320	28,843	28,823
リスクアセット ②	344,672	43	7,700	344,629	336,972

●自己資本額が2026年３月末比３億円増加し、リスクアセットが同43百万円増加した結果、自己資本比率は同0.09％ポイント上昇し8.45％となりました。

７．業績予想

（単位：百万円）

	2026年9月末 期初予想	2026年9月末 実　績	2027年3月期 予　想	2026年3月期 実　績
経常利益	400	689	1,220	1,207
当期（中間）純利益	130	348	830	819
業 務 純 益	880	1,268	1,900	1,679
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	810	1,086	1,760	1,475
コア業務純益	840	1,103	1,830	1,851
信用コスト	450	459	620	1,087
（一般貸倒引当金繰入額）	△ 70	△ 182	△ 140	△ 203
（不良債権処理額）	520	641	760	1,290

(注)業績予想については、当行が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、 実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Ⅱ　貸出金等の状況

・部分直接償却実施（実施しています）

・未収利息不計上基準　（自己査定基準）

１．貸倒引当金等の状況

（単位：百万円）

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
貸倒引当金	4,923	40	475	4,882	4,448
一般貸倒引当金	1,913	△ 182	△ 248	2,096	2,162
個別貸倒引当金	3,009	222	723	2,786	2,285

（注）個別貸倒引当金には、「その他資産」であるゴルフ会員権等に対する引当金を含んでおります。

２．金融再生法開示債権及び引当率、保全率

（単位：百万円、%）

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,279	△ 296	△ 421	1,575	1,700
危険債権	21,840	522	808	21,317	21,031
要管理債権	737	△ 129	△ 139	867	876
計（金融再生法開示債権）	23,857	97	248	23,760	23,609
正常債権	420,242	2,584	9,484	417,658	410,757
総与信残高	444,099	2,681	9,732	441,418	434,367
金融再生法開示債権比率（部直後）	5.37	△ 0.01	△ 0.06	5.38	5.43
金融再生法開示債権比率（部直前）	6.07	0.05	△ 0.10	6.02	6.17

	2026年9月末					
	貸出金等残高 A	担保保証等 B	回収が懸念される額A－B	貸倒引当金 C	引当率 C/(A－B)	保全率 (B＋C)/A
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,279	1,228	50	50	100.00	100.00
（自己査定における破綻債権）	263	249	14	14	100.00	100.00
（自己査定における実質破綻債権）	1,015	979	36	36	100.00	100.00
危険債権	21,840	13,038	8,802	2,952	33.54	73.21
（自己査定における破綻懸念債権）	21,840	13,038	8,802	2,952	33.54	73.21
要管理債権	737	105	632	204	32.26	41.94
合　計	23,857	14,372	9,485	3,207	33.81	73.68

(単位：百万円,％)

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
貸出金等残高 A	23,857	97	248	23,760	23,609
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,279	△ 296	△ 421	1,575	1,700
危険債権	21,840	522	808	21,317	21,031
要管理債権	737	△ 129	△ 139	867	876
保全額 B＋C	17,580	△ 121	702	17,702	16,877
担保保証等 B	14,372	△ 305	△ 5	14,677	14,377
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,228	△ 282	△ 386	1,511	1,615
危険債権	13,038	30	432	13,007	12,605
要管理債権	105	△ 53	△ 51	158	156
貸倒引当金 C	3,207	183	707	3,024	2,500
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	50	△ 13	△ 34	64	85
危険債権	2,952	236	758	2,716	2,194
要管理債権	204	△ 39	△ 16	243	220
引当率 C/(A－B)	33.81	0.51	6.73	33.30	27.08
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00	—	—	100.00	100.00
危険債権	33.54	0.86	7.50	32.68	26.04
要管理債権	32.26	△ 2.14	1.71	34.40	30.55
保全率 (B＋C)/A	73.68	△ 0.82	2.20	74.50	71.48
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	100.00	—	—	100.00	100.00
危険債権	73.21	△ 0.55	2.84	73.76	70.37
要管理債権	41.94	△ 4.48	△ 1.01	46.42	42.95

3．自己査定結果（償却・引当後）

(単位：百万円,％)

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
破綻債権	263	△ 0	114	264	149
実質破綻債権	1,015	△ 295	△ 535	1,310	1,551
破綻懸念債権	21,840	522	808	21,317	21,031
要注意債権	110,592	219	3,856	110,373	106,736
正常債権	309,046	2,302	5,894	306,743	303,151
総与信残高	442,758	2,749	10,138	440,009	432,620

	2026年9月末				
	非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類	合計
破綻債権	58	205	—	—	263
実質破綻債権	601	413	—	—	1,015
破綻懸念債権	8,968	7,022	5,849	—	21,840
要注意債権	25,156	85,436	—	—	110,592
正常債権	309,046	—	—	—	309,046
総与信残高	343,831	93,077	5,849	—	442,758
構成比	77.65	21.02	1.32	—	100.00

(注)総与信残高……貸出金、未収利息、仮払金、支払承諾見返の残高。
非分類……Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ分類に該当しないで、回収又は価値の毀損の危険性について問題のない資産。
Ⅱ分類……回収について通常の度合いを超える危険を含むと認められる資産。
Ⅲ分類……最終の回収又は価値について重大な懸念があるため、損失発生の可能性が高いが、その損失額について合理的な推計が困難な資産。
Ⅳ分類……回収不可能又は無価値と判断される資産。

４．業種別貸出状況等

①業種別貸出金

（単位：百万円）

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	442,177	2,720	10,139	439,457	432,038
製造業	17,557	△ 833	△ 756	18,390	18,313
農業、林業	1,510	185	152	1,325	1,358
漁業	228	42	56	185	172
鉱業、採石業、砂利採取業	863	△ 26	△ 34	889	898
建設業	42,328	△ 1,226	269	43,554	42,058
電気・ガス・熱供給・水道業	8,659	△ 1,487	△ 2,943	10,147	11,602
情報通信業	1,064	△ 97	290	1,161	774
運輸業、郵便業	10,129	△ 362	95	10,492	10,033
卸売業、小売業	34,996	729	1,008	34,267	33,988
金融業、保険業	5,860	1,632	826	4,227	5,033
不動産業、物品賃貸業	125,011	△ 345	5,150	125,356	119,860
各種サービス業	92,181	4,507	6,932	87,673	85,248
地方公共団体	29,167	1,503	928	27,664	28,238
その他	72,617	△ 1,501	△ 1,838	74,118	74,456

②業種別金融再生法開示債権

（単位：百万円）

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
国内(除く特別国際金融取引勘定分)	23,857	97	248	23,760	23,609
製造業	2,554	1	△ 260	2,553	2,815
農業、林業	240	133	112	106	127
漁業	3	△ 0	△ 0	4	4
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—	—
建設業	3,637	671	542	2,966	3,095
電気・ガス・熱供給・水道業	364	△ 1	△ 15	365	379
情報通信業	13	△ 6	△ 111	20	125
運輸業、郵便業	1,468	△ 46	△ 174	1,515	1,643
卸売業、小売業	4,274	△ 127	90	4,401	4,183
金融業、保険業	0	△ 0	△ 0	0	1
不動産業、物品賃貸業	3,151	△ 165	△ 226	3,316	3,377
各種サービス業	6,752	△ 431	185	7,183	6,567
地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	1,394	70	105	1,323	1,289

５．国別貸出状況等

海外向け貸出金は、該当ありません。

６．預金、貸出金の平均残高

（単位：百万円）

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
預　　金（平　　残）	565,692	3,562	3,162	562,130	562,529
貸　出　金（平　　残）	438,630	6,301	8,818	432,328	429,811

（注）預金には譲渡性預金を含んでおります。

７．法人、個人別預金内訳

（単位：百万円）

		2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
			2026年3月末比	2025年9月末比		
残高	個　　人	388,821	△ 3,556	△ 572	392,377	389,393
	流 動 性 預 金	216,440	△ 5,251	△ 4,017	221,691	220,457
	定 期 性 預 金	172,381	1,695	3,445	170,686	168,936
	法　　人	172,177	2,005	1,364	170,172	170,813
	流 動 性 預 金	121,787	△ 2,703	△ 3,568	124,491	125,355
	定 期 性 預 金	50,390	4,709	4,932	45,680	45,457
平残	個　　人	392,183	639	2,304	391,543	389,878
	流 動 性 預 金	220,430	△ 1,978	△ 1,875	222,408	222,306
	定 期 性 預 金	171,752	2,617	4,180	169,134	167,572
	法　　人	173,509	2,922	857	170,587	172,651
	流 動 性 預 金	124,146	△ 1,245	△ 3,613	125,391	127,760
	定 期 性 預 金	49,363	4,167	4,471	45,195	44,891

（注）１．定期性預金には譲渡性預金を含んでおります。
　　２．「法人預金」＝一般法人預金＋金融機関預金＋公金

８．有価証券の評価損益

（単位：百万円）

	2026年9月末			2026年3月末			2025年9月末		
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的の債券	△ 65	―	65	△ 49	―	49	△ 30	―	30
子会社・関連会社株式	―	―	―	―	―	―	―	―	―
その他有価証券	△ 1,000	3,572	4,572	△ 1,279	2,354	3,634	△ 1,086	2,026	3,113
株　式	3,565	3,568	2	2,322	2,331	9	1,912	1,946	33
債　券	△ 4,296	―	4,296	△ 3,463	2	3,466	△ 2,695	7	2,702
その他	△ 269	4	273	△ 138	19	158	△ 303	73	376
合　　計	△ 1,065	3,572	4,637	△ 1,329	2,354	3,684	△ 1,116	2,026	3,143

（注）評価損益 ＝ 評価益 － 評価損

Ⅲ　その他

１．役職員数及び店舗数について

①役職員数　（単位：人）

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
役員数	12	―	―	12	12
従業員数	523	14	△ 4	509	527

②店舗数　（単位：ヶ店）

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
店舗数	42	―	―	42	42

（注）上記42ヶ店には店舗内店舗方式により移転した店舗を含んでいるため、拠点数としては39ヶ所となっております。

２．不良債権について

（1）不良債権比率（金融再生法基準）　（単位：%）

	2021年3月末	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末	2023年3月末	2023年9月末
単体ベース	4.32	4.09	4.49	4.57	4.85	5.03

	2024年3月末	2024年9月末	2025年3月末	2025年9月末	2026年3月末	2026年9月末
単体ベース	5.31	5.33	5.45	5.43	5.38	5.37

（2）債務者区分毎の貸倒実績率と引当額　（単位：百万円）

	2026年9月末		2026年3月末		2025年9月末	
実質破綻・破綻先債権	100.00%	50	100.00%	64	100.00%	85
破綻懸念先債権	16.03%	2,952	14.58%	2,716	13.43%	2,194
要管理先債権	27.65%	227	28.09%	257	25.09%	236
その他要注意先債権	0.73%	1,394	0.74%	1,475	0.77%	1,476
正常先債権	0.03%	109	0.07%	195	0.09%	263
その他（引当額のみ）	―	182	―	167	―	185

（注）その他には責任共有制度に係る引当金等の金額を記載しております。

３．投資信託、保険の販売について

a．投資信託の販売額　（単位：百万円,%）

	販売額	前年同期比増減率
2025年9月末	1,321	△ 63.25
2026年3月末	4,186	△ 30.07
2026年9月末	1,939	46.80

b．保険の販売額　（単位：百万円,%）

	販売額	前年同期比増減率
2025年9月末	573	319.05
2026年3月末	920	△ 6.75
2026年9月末	434	△ 24.25

（注）一時払い終身保険は除く

Ⅳ　地域への信用供与に関する状況

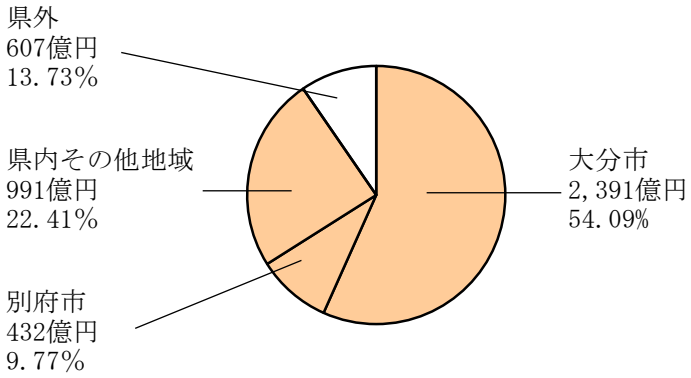
１．大分県内向け貸出金残高、先数

（単位：百万円, 先, %）

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
大分県内貸出金残高①	381,460	2,178	7,346	379,282	374,114
総貸出金残高②	442,177	2,720	10,139	439,457	432,038
大分県内貸出金残高比率①／②	86.26	△ 0.04	△ 0.33	86.30	86.59
大分県内貸出先数③	18,794	△ 287	△ 513	19,081	19,307
総貸出先数④	19,737	△ 290	△ 548	20,027	20,285
大分県内貸出先数比率③／④	95.22	△ 0.05	0.05	95.27	95.17

○地域別貸出額（2026年９月末）

大分県内への貸出金残高は3,814億円で、貸出金全体の86.26%となっています。



２．大分県内向け中小企業等貸出金残高、先数

（単位：百万円, 先, %）

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
大分県内中小企業等貸出金残高①	343,445	△ 1,511	4,254	344,957	339,191
中小企業等貸出金残高②	396,414	△ 2,055	5,915	398,470	390,499
大分県内中小企業等貸出金残高比率①／②	86.63	0.06	△ 0.23	86.57	86.86
大分県内中小企業等貸出先数③	18,750	△ 288	△ 512	19,038	19,262
中小企業等貸出先数④	19,675	△ 292	△ 547	19,967	20,222
大分県内中小企業等貸出先数比率③／④	95.29	△ 0.05	0.04	95.34	95.25

（注）中小企業等とは、資本金3億円（ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円）以下の会社又は常用する従業員が300人（ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人）以下の会社及び個人であります。

３．大分県内向け個人ローン残高

（単位：百万円, %）

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
大分県内個人ローン残高①	74,384	△ 990	△ 2,345	75,374	76,729
個人ローン残高②	76,933	△ 934	△ 2,354	77,868	79,288
大分県内個人ローン残高比率①／②	96.68	△ 0.11	△ 0.09	96.79	96.77

４．大分県内向け業種別貸出金残高、先数

〈残　高〉　（単位：百万円）

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
製造業	16,328	△ 662	△ 942	16,990	17,270
農業、林業	1,506	181	148	1,325	1,358
漁業	228	42	56	185	172
鉱業、採石業、砂利採取業	803	△ 26	△ 34	829	838
建設業	39,148	△ 864	406	40,013	38,742
電気・ガス・熱供給・水道業	6,700	△ 1,287	△ 2,518	7,988	9,219
情報通信業	957	△ 113	261	1,070	696
運輸業、郵便業	8,291	△ 292	229	8,583	8,062
卸売業、小売業	30,540	830	751	29,710	29,788
金融業、保険業	3,827	1,664	1,458	2,162	2,368
不動産業、物品賃貸業	91,539	△ 805	2,529	92,344	89,009
各種サービス業	82,243	3,546	5,887	78,697	76,356
地方公共団体	29,167	1,503	928	27,664	28,238
その他	70,175	△ 1,538	△ 1,816	71,714	71,991
合計	381,460	2,178	7,346	379,282	374,114

〈先　数〉　（単位：先）

	2026年9月末			2026年3月末	2025年9月末
		2026年3月末比	2025年9月末比		
製造業	214	△ 12	△ 17	226	231
農業、林業	174	△ 14	△ 28	188	202
漁業	46	△ 1	△ 5	47	51
鉱業、採石業、砂利採取業	4	—	—	4	4
建設業	1,434	△ 35	△ 39	1,469	1,473
電気・ガス・熱供給・水道業	210	1	△ 11	209	221
情報通信業	42	△ 4	3	46	39
運輸業、郵便業	162	△ 5	△ 1	167	163
卸売業、小売業	739	△ 6	△ 24	745	763
金融業、保険業	49	△ 8	△ 9	57	58
不動産業、物品賃貸業	1,051	△ 58	△ 76	1,109	1,127
各種サービス業	1,894	△ 79	△ 113	1,973	2,007
地方公共団体	20	—	—	20	20
その他	12,755	△ 66	△ 193	12,821	12,948
合計	18,794	△ 287	△ 513	19,081	19,307



2027年3月期 第2四半期

決算ダイジェスト

－　2026年11月9日現在　－

豊和銀行



豊和銀行

目 次

Contents

1.	2026年9月期決算ハイライト	2
2.	損益の状況	3
3.	資金利益の状況	4
4.	貸出金の状況	5
5.	預金（譲渡性預金を含む）の状況	6
6.	信用コストの状況	7
7.	不良債権の状況	8
8.	有価証券の状況	9
9.	預かり資産の状況	10
10.	自己資本比率	11
11.	業績予想	12
12.	経常収益と経常利益、中間純利益の推移	14
13.	経営強化計画の達成状況	15
14.	トピックス	16

豊和銀行

（単位：百万円、％）

- 主要指標 -

	2022年9月期 実績	2023年9月期 実績	2024年9月期 実績	2025年9月期 実績	2026年9月期 実績
経常収益	4,791	5,387	5,433	5,792	6,308
コア業務純益（※1）	719	685	903	863	1,103
経常利益	530	467	1,004	639	689
中間純利益	474	321	888	408	348
信用コスト（※2）	206	246	△ 165	390	459
自己資本比率	9.21	9.24	9.71	8.55	8.45

※1 コア業務純益とは、銀行の本来の業務（預金・貸出金・手数料収入など）による収益力を示す指標です。
※2 信用コストとは、お客さまへの貸出金が回収できなくなるおそれに備えて計上する費用のことです。

豊和銀行

（単位：百万円、%）

- 主要財務計数 -

	2025年9月期	2026年9月期	2025年9月期比
経常収益 ①	5,792	**6,308**	515
コア業務粗利益（※1） ②	4,272	**4,607**	334
資金利益 ③	4,217	**4,479**	261
うち貸出金利息 ④	4,253	**4,706**	453
役務取引等利益 ⑤	65	**137**	72
その他業務利益（除く国債等債券損益） ⑥	△ 9	**△ 9**	△0
経費（△） ⑦	3,409	**3,504**	94
コア業務純益（※2） ⑧	863	**1,103**	240
国債等債券損益 ⑨	△ 141	**△ 16**	124
業務純益（一般貸倒引当金繰入前） ⑩	721	**1,086**	364
経常利益 ⑪	639	**689**	49
特別損益 ⑫	△ 15	**2**	17
法人税等合計（△） ⑬	215	**343**	127
中間純利益 ⑭	408	**348**	△ 60
信用コスト ⑮	390	**459**	69
自己資本比率 ⑯	8.55	**8.45**	△ 0.10

※1 コア業務粗利益②=資金利益③+役務取引等利益⑤+その他業務利益（除く国債等債券損益）⑥

※2 コア業務純益⑧=コア業務粗利益②－経費⑦

◆ 総括

当中間期は**経常利益⑪ベースでは増収増益、中間純利益⑭ベースでは増収減益**の決算となりました。**資金利益③**及び**役務取引等利益⑤**は共に増加し、**本業の収益力は向上しました。**他方、**一部の大口のお客さまの再生支援に伴い信用コスト⑮は増加**したものの、**経常利益⑪は前年同期を上回り、増益**となりました。**中間純利益⑭**は**法人税等合計⑬が増加**したことで**減益**となりました。以上より、**総じて健闘した決算と評価しております。**

◆ 経常収益 ①

貸出金利息④の増加等により、前年同期比**5億15百万円増加**し、**63億8百万円**となりました。

◆ コア業務粗利益②・コア業務純益⑧

コア業務粗利益②は、**資金利益③**および**役務取引等利益⑤**がともに**増加したこと**で、前年同期比**3億34百万円増加**し、**46億7百万円**となりました。他方、**経費⑦**は**ベースアップなどの処遇改善の影響で人件費が増加し**、同**94百万円増加**しました。その結果、**コア業務純益⑧**は同**2億40百万円増加の11億3百万円**となりました。

◆ 信用コスト ⑮

お客さまの業績回復に伴う引当金の戻入による「一般貸倒引当金繰入額」のマイナスや、償却債権の回収が順調に進み「償却債権取立益」が増加したこと等、**信用コストの減少要因はあったものの**、他方で、**一部の大口のお客さまに対する再生支援**などお客さまの状況に合わせた適切な引当を実施した結果、**「貸出金償却」、「個別貸倒引当金繰入額」が増加**となり、**信用コスト全体では前年同期比69百万円増加の4億59百万円**となりました。

◆ 自己資本比率 ⑯

前年同期比**0.10%ポイント低下**し、8.45%となりました。

豊和銀行

（単位：百万円）

- 資金利益 -

	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期	2025年9月期比
資金利益（②－⑥） ①	4,073	4,217	**4,479**	261
資金運用収益 ②	4,163	4,722	**5,368**	646
貸出金利息 ③	3,782	4,253	**4,706**	453
有価証券利息配当金 ④	301	367	**503**	135
その他 ⑤	79	100	**157**	57
資金調達費用 ⑥	90	504	**889**	384
預金利息 ⑦	87	501	**874**	372
譲渡性預金利息 ⑧	2	3	**15**	11

（単位：%）

- 利鞘 -

	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期	2025年9月期比
資金運用利回り ⑨	1.37	1.60	**1.81**	0.21
貸出金利回り ⑩	1.78	1.97	**2.14**	0.17
有価証券利回り ⑪	0.51	0.61	**0.85**	0.24
資金調達原価 ⑫	1.15	1.38	**1.54**	0.16
預金等利回り ⑬	0.03	0.17	**0.31**	0.14
総資金利鞘（⑨－⑫） ⑭	0.22	0.22	**0.27**	0.05

◆ 資金利益 ①

資金運用収益②（主に貸出金利息③）の増加に伴い、前年同期比**2億61百万円増加**し、**44億79百万円**となりました。

◆ 貸出金利息 ③

これまでの**政策金利の利上げを背景とした貸出金利の改善**に加え、**企業の設備資金需要等を背景に事業性貸出金が増加**したことから、前年同期比**4億53百万円増加**し、**47億6百万円**となりました。

◆ 預金利息 ⑦

預金利回りの上昇により、前年同期比**3億72百万円増加**し、**8億74百万円**となりました。

◆ 貸出金利回り ⑩

前年同期比**0.17%ポイント改善**し、**2.14%**となりました。

《短期プライムレート（当行）の引き上げ状況》

- 2025.03.24~ ＋0.25%ポイント
- 2026.02.27~ ＋0.25%ポイント
- 2026.09.01~ ＋0.25%ポイント
- 2026.12.01~ ＋0.25%ポイント（予定）

◆ 預金等利回り ⑬

前年同期比**0.14%ポイント上昇**し、**0.31%**となりました。

《普通預金金利の金利水準推移》

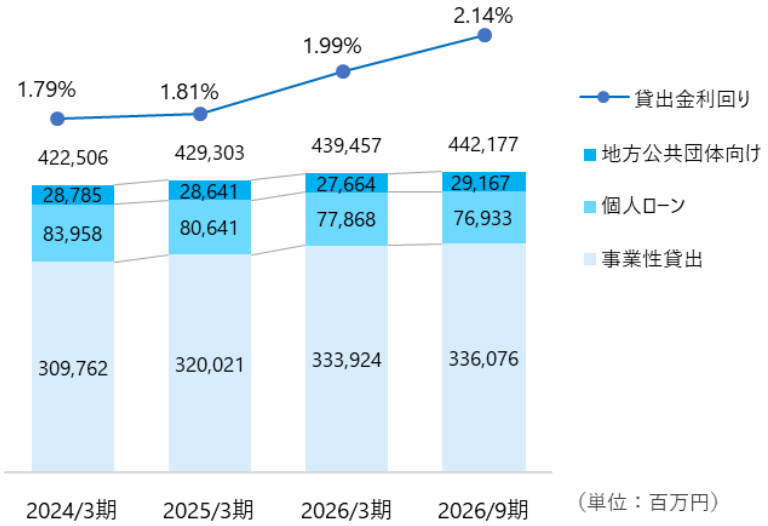
- 2025.03.24~ 0.20%（変更前 0.10%）
- 2026.02.27~ 0.30%
- 2026.09.27~ 0.40%
- 2026.12.01~ 0.50%（予定）

豊和銀行

（単位：百万円、%）

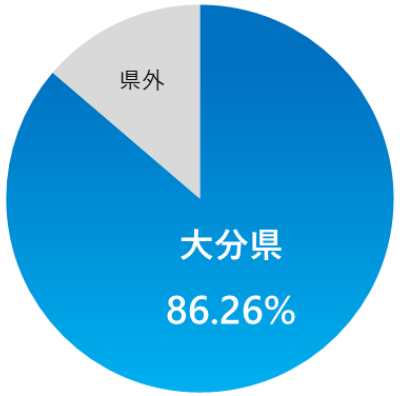
- 貸出金 -

	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末	2026年3月末比
貸出金（期末残高）	429,303	439,457	**442,177**	2,720
事業性貸出	320,021	333,924	**336,076**	2,152
個人ローン	80,641	77,868	**76,933**	△ 934
うち住宅ローン	59,544	57,053	**56,424**	△ 628
うちその他ローン	21,096	20,815	**20,509**	△ 306
地方公共団体向け	28,641	27,664	**29,167**	1,503
貸出金（平均残高）	424,928	432,328	**438,630**	6,301
大分県内向け貸出金（期末残高）	374,817	379,282	**381,460**	2,178
大分県内向け貸出金（比率）	87.30	86.30	**86.26**	△ 0.04



（単位：百万円）

大分県内向け貸出金残高の割合



◆ 貸出金（期末残高）

事業性貸出や地方公共団体向け貸出の増加額が、**個人ローンの減少額を上回った**ことから、**貸出金（期末残高）**は前年度末比**27億20百万円増加**し、**4,421億77百万円**となりました。

◆ 貸出金（平均残高）

事業先向けの資金需要の増加や、新規取引先の開拓等が寄与したことから、**貸出金（平均残高）**は前年度比**63億1百万円増加**し、**4,386億30百万円**となりました。

◆ 大分県内向け貸出金残高

貸出金の86.26%が県内向けであり、**地域に根差した取引基盤**が**維持**されています。

◆ 貸出金利回り

前年度末比**0.15%ポイント上昇**し、**2.14%**となりました。

《短期プライムレート（当行）引き上げ状況》

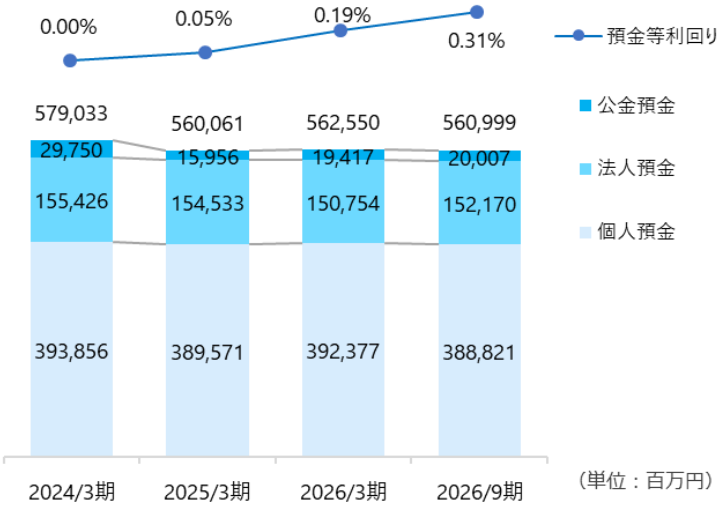
- 2025.03.24　＋0.25%ポイント
- 2026.02.27　＋0.25%ポイント
- 2026.09.01～　＋0.25%ポイント
- 2026.12.01～　＋0.25%ポイント（予定）

5. 預金（譲渡性を含む）の状況

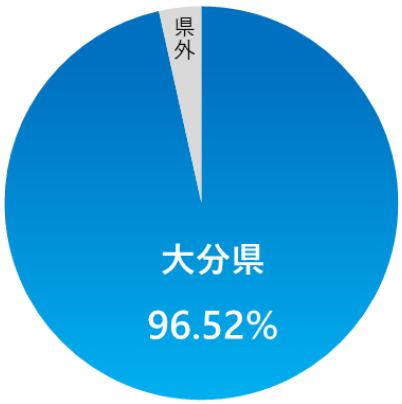
（単位：百万円、%）

- 預金 -

	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末	2026年3月末比
預金（期末残高）	560,061	562,550	**560,999**	△ 1,550
個人預金	389,571	392,377	**388,821**	△ 3,556
法人預金	154,533	150,754	**152,170**	1,415
公金預金	15,956	19,417	**20,007**	590
預金（平均残高）	581,237	562,130	**565,692**	3,562
大分県内預金（期末残高）	539,587	544,715	**541,483**	△ 3,231
大分県内預金（比率）	96.34	96.82	**96.52**	△ 0.30



大分県内のお客さまの預金残高の割合



◆ 預金（期末残高）

預金（期末残高）は、**法人預金や公金預金は増加した**ものの、**個人預金の減少を補うには至らず**、前年度末比**15億50百万円減少し**、**5,609億99百万円**となりました。

◆ 預金（平均残高）

預金（平均残高）は、**総じて堅調に推移した**ことから、前年度末比**35億62百万円増加し**、**5,656億92百万円**となりました。

◆ 大分県内のお客さまの預金残高

地元のお客さまに支えられ、**預金の96.52%を県内のお客さまからお預かりしています。**これからも**地域に寄り添った金融サービスをご提供してまいります。**

◆ 預金等利回り

前年度比**0.12%ポイント上昇し**、**0.31%**となりました。

《普通預金金利の金利水準推移》

- 2025.03.24~ 0.20%（変更前 0.10%）
- 2026.02.27~ 0.30%
- 2026.09.27~ 0.40%
- 2026.12.01~ 0.50%（予定）

豊和銀行

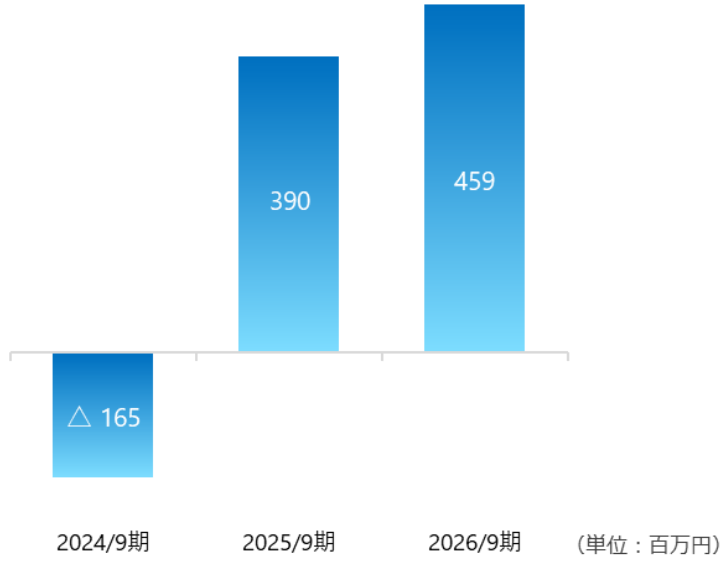
（単位：百万円）

- 信用コスト -

	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期	2025年9月期比
信用コスト（①＋②）	△165	390	**459**	69
一般貸倒引当金繰入額①	－	△137	**△182**	△45
不良債権処理額②	△165	527	**641**	114
貸出金償却	208	414	**546**	132
個別貸倒引当金繰入額	－	214	**257**	42
債権売却損益	1	－	**－**	－
貸倒引当金戻入益（△）	258	－	**－**	－
償却債権取立益（△）	149	106	**187**	81
その他	35	4	**25**	20

◆ 信用コストの推移

お客さまの業績回復に伴う引当金の戻入による「一般貸倒引当金繰入額」のマイナスや、償却債権の回収が順調に進み「償却債権取立益」が増加したこと等、**信用コストの減少要因はあったものの**、他方で、**一部の大口のお客さまに対する再生支援など**お客さまの状況に合わせた適切な引当を実施した結果、「**貸出金償却**」、「**個別貸倒引当金繰入額**」**が増加**となり、**信用コスト全体では前年同期比69百万円増加の4億59百万円**となりました。



豊和銀行

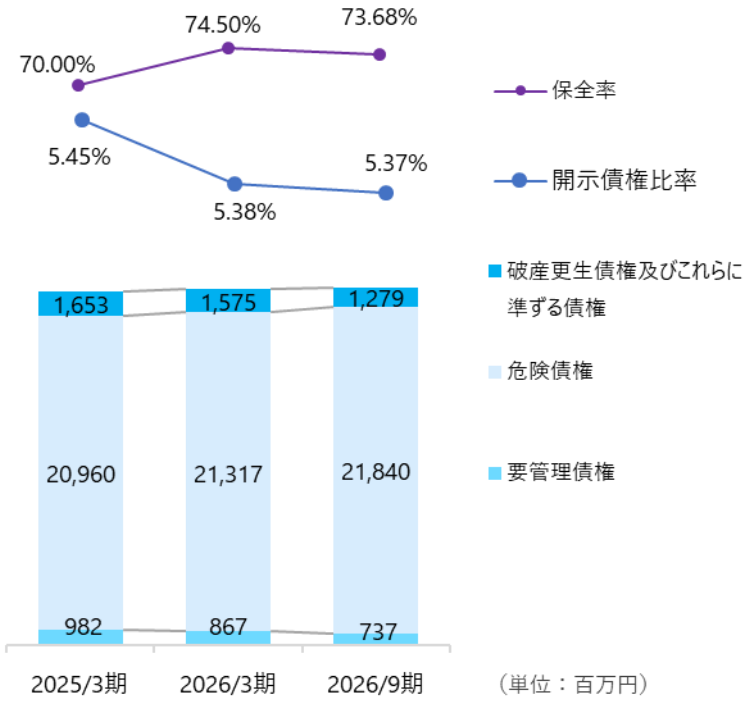
（単位：百万円、％）

- 不良債権 -

	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末	2026年3月末比
金融再生法開示債権①	23,597	23,760	**23,857**	97
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,653	1,575	**1,279**	△ 296
危険債権	20,960	21,317	**21,840**	522
要管理債権	982	867	**737**	△ 129
正常債権	408,718	417,658	**420,242**	2,584
総与信②	432,315	441,418	**444,099**	2,681
開示債権比率（①÷②）	5.45	5.38	**5.37**	△ 0.01
保全率	70.00	74.50	**73.68**	△ 0.82

◆ 不良債権の推移

開示債権比率(＝不良債権比率)は**金融再生法開示債権①**は**97百万円増加**したものの、**正常債権の増加**などにより**総与信が拡大したこと**から、前年度末比**0.01%ポイント低下の5.37%**となりました。



8. 有価証券の状況（評価損益・残高・デュレーション）

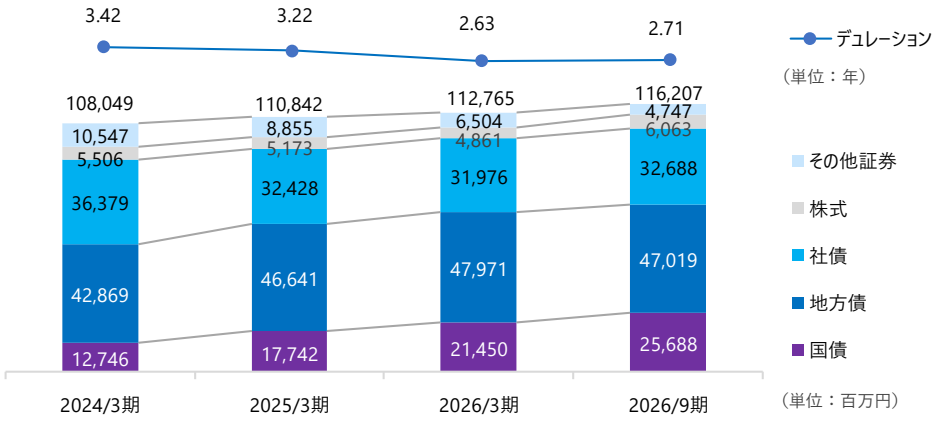
豊和銀行

（単位：百万円）

- 有価証券評価損益 -

	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末	2026年3月末比
満期保有目的の債券①	△ 25	△ 49	△ 65	△ 15
地方債	△ 25	△ 49	△ 65	△ 15
その他有価証券②	△ 1,718	△ 1,279	△ 1,000	279
債券	△ 2,755	△ 3,463	△ 4,296	△ 832
国債	△ 735	△ 1,035	△ 1,267	△ 232
地方債	△ 1,228	△ 1,427	△ 1,798	△ 371
社債	△ 790	△ 1,000	△ 1,229	△ 228
株式	1,640	2,322	3,565	1,242
その他の証券	△ 604	△ 138	△ 269	△ 130
合計（①＋②）	△ 1,743	△ 1,329	△ 1,065	264

有価証券残高、デュレーション（平均回収期間）



◆ 満期保有目的の債券 ①

満期保有目的の債券①に係る**有価証券評価損益**は、金利上昇の影響などにより**評価損の状態**となっていますが、**満期保有目的の債券①は、満期まで保有することを前提としており、償還時には額面で回収されること**から、**現在の評価損は償還時に解消される見込みです。**

＊満期保有目的の債券：価格変動による売買益を目的とせず、満期まで保有し利息収入等を得ることを目的とした債券

◆ その他有価証券 ②

債券（国債・地方債・社債）の評価損益は、金利上昇に伴う債券価格の下落等により、**42億96百万円の評価損**となりました。他方、**株式の評価損益は35億65百万円の評価益**となりました。

その結果、**その他有価証券②の評価損益**は、前年度末比**2億79百万円改善**し、**10億円の評価損**となりました。

◆ 有価証券残高

有価証券残高は、前年度末比**34億42百万円増加**し、**1,162億7百万円**となりました。**市場環境の不透明感が続くなか、金利動向や信用リスクに留意しつつ、流動性の確保を図るため、国債や社債を中心とした債券の積み増し**を行っています。

◆ デュレーション（平均回収期間）

有価証券のうち債券（国債・地方債・社債等）のデュレーション（平均回収期間）は、前年度末比**0.08年延び、2.71年**となりました。引き続き、**金利動向を踏まえ、債券のデュレーション（平均回収期間）を短めにすることで、金利上昇に対するリスクを抑えた健全な運用**を行ってまいります。

豊和銀行

（単位：百万円、件）

- 預かり資産 -

	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末	2026年3月末比
預かり資産残高	48,919	51,721	**55,646**	3,925
投資信託	13,036	14,247	**16,507**	2,260
個人年金保険	34,665	35,585	**36,020**	434
公共債	1,217	1,888	**3,119**	1,230
NISA口座数	5,004	5,646	**5,682**	36
NISA残高	3,120	4,545	**5,813**	1,267

※個人年金保険については、残高の把握が困難なことから、販売累計額を使用しております。

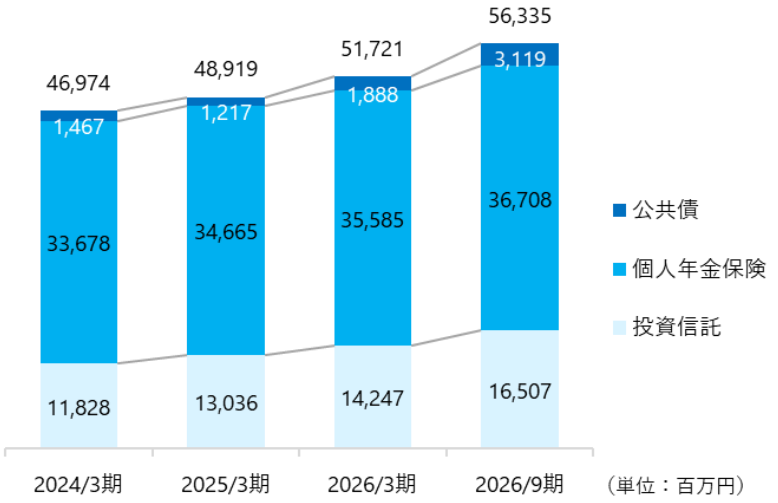
◆ 預かり資産残高（投資信託、個人年金保険、公共債）

日本銀行の金融政策見直しに伴う金融環境の変化や資産運用ニーズの高まりを背景に、**個人向け国債を中心とした公共債残高が大きく増加した**ほか、**投資信託や個人年金保険も堅調に推移**したことから、**預かり資産残高**は前年度末比**39億25百万円増加**し、**556億46百万円**となりました。

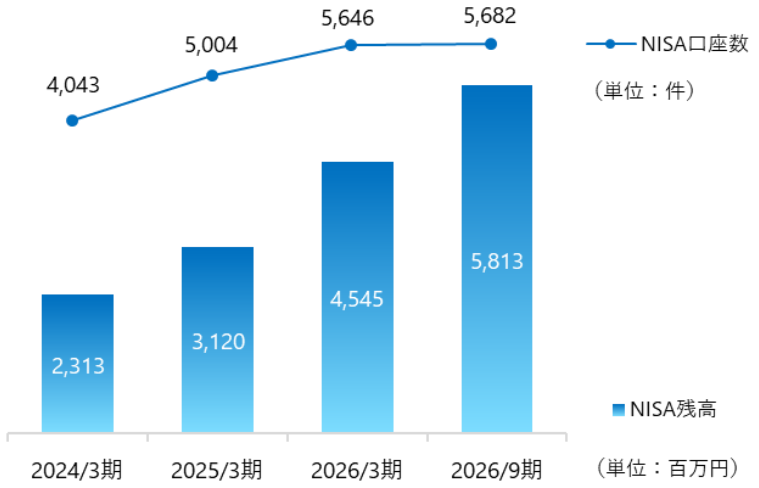
◆ NISA口座数およびNISA残高

NISA口座の口座数は、前年度末比**36口座増加し、5,682口座**となり、**NISA残高**は前年度末比**12億67百万円増加**し、**58億13百万円**となりました。

預かり資産残高（投資信託、個人年金保険、公共債）



NISA口座数およびNISA残高



豊和銀行

- 自己資本比率 -

（単位：百万円、%）

	2025年3月末	2026年3月末	2026年9月末	2026年3月末比
自己資本比率	10.67	8.36	**8.45**	0.09
自己資本の額	35,447	28,843	**29,143**	300
リスク・アセットの額	332,060	344,629	**344,672**	43

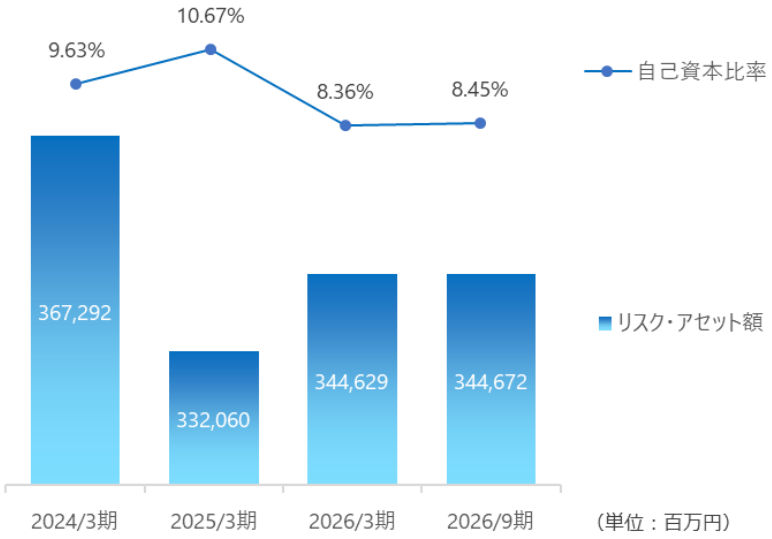
◆ 自己資本比率

自己資本比率は、**自己資本の額およびリスク･アセットの額がともに概ね横ばいで推移**するなか、前年度末比**0.09%ポイント上昇**し、**8.45%**となりました。当行は引き続き、**地域への徹底支援を推し進め、経営基盤の強化に努める一方、内部留保の充実を図り、公的資金（90億円）**については、期限の**2029年3月までに完済できるよう**取り組んでまいります。

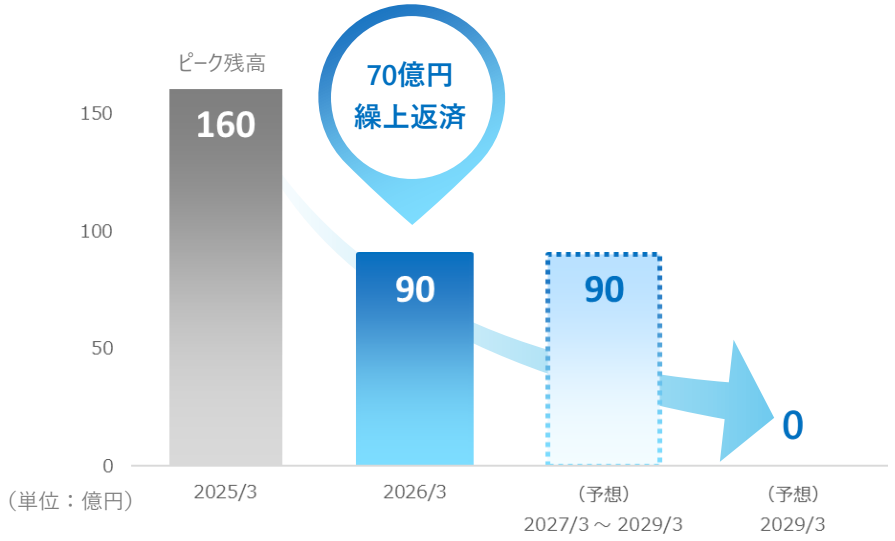
◆ 公的資金の一部返済完了（2026年3月期）

2025年8月1日、当行は、株式会社整理回収機構にお引き受けいただいている**公的資金160億円のうち70億円の繰上返済**を実施いたしました。これに伴い、自己資本の額が減少したことなどから、**2026年3月末**の**自己資本比率は8.36%**となっております。

自己資本比率



公的資金残高



豊和銀行

（単位：百万円）

- 業績予想 -

	2026年9月期 期初予想（※）	2026年9月期 実績	増減	2026年3月期 実績	2027年3月期 予想（※）	増減
経常利益	400	689	289	1,207	1,220	12
当期（中間）純利益	130	348	218	819	830	10
業務純益	880	1,268	388	1,679	1,900	220
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	810	1,086	276	1,475	1,760	284
コア業務純益	840	1,103	263	1,851	1,830	△ 21
信用コスト	450	459	9	1,087	620	△ 467
（一般貸倒引当金繰入額）	△ 70	△ 182	△ 112	△ 203	△ 140	63
（不良債権処理額）	520	641	121	1,290	760	△ 530

◆ 業績予想

2027年3月期は、**地政学リスクや物価高騰等を背景に信用コストの発生を見込む**一方、**これまでの政策金利の利上げに伴い収益環境の改善**が見込まれます。他方、**人件費（ベースアップ等の処遇改善）や設備投資に伴う物件費の増加等により営業経費は前年度比で増加**する見通しです。こうした環境を踏まえ、**経常利益および当期純利益は、前年度並みとなる業績予想としております。**

なお、第２四半期決算を踏まえた2027年3月期通期の業績予想につきましても、今後の経済状況等の見通しが不透明であることから、**前回（2026年5月14日）発表の予想数値を据え置いております。**

今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

（※）業績予想については、当行が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

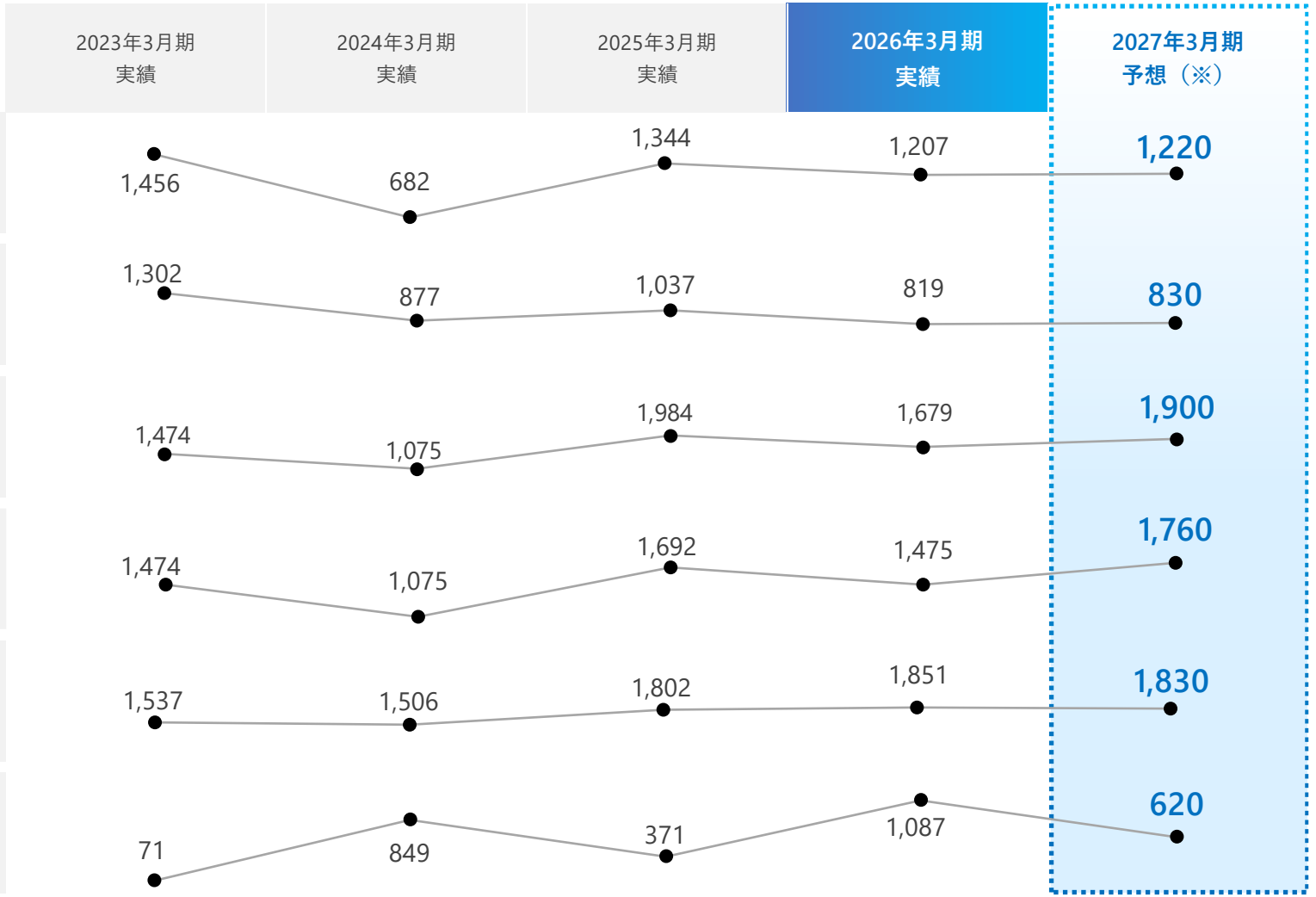
（※）2026年9月期 期初予想及び2027年3月期予想は、2026年5月14日公表分に基づく。

（※）2026年9月期の業績予想について、当行は2026年11月2日に業績予想の修正を行い、経常利益を680百万円（期初予想比＋280百万円）、中間純利益を340百万円（期初予想比＋210百万円）に修正しております。

豊和銀行

（単位：百万円）

- 業績の推移 -



（※）業績予想については、当行が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（※）2027年3月期予想は、2026年5月14日公表分に基づく。

12. 経常収益と経常利益、中間純利益の推移

豊和銀行

（単位：百万円）

- 推移表 -

	経常収益	前年同期比		経常利益	前年同期比		中間純利益	前年同期比	
2026年9月期	6,308	515	増 収	689	49	増 益	348	△ 60	減 益
2025年9月期	5,792	359	増 収	639	△ 364	減 益	408	△ 479	減 益
2024年9月期	5,433	45	増 収	1,004	536	増 益	888	566	増 益
2023年9月期	5,387	596	増 収	467	△ 63	減 益	321	△ 152	減 益
2022年9月期	4,791	△ 438	減 収	530	△ 489	減 益	474	△ 406	減 益
2021年9月期	5,230	339	増 収	1,020	146	増 益	880	15	増 益
2020年9月期	4,890	△ 174	減 収	873	79	増 益	865	138	増 益
2019年9月期	5,065	△ 182	減 収	794	△ 265	減 益	727	△ 276	減 益
2018年9月期	5,247	154	増 収	1,060	294	増 益	1,003	516	増 益

2026年9月期決算は、経常利益ベースでは **増収増益**（2期ぶり）

中間純利益ベースでは **増収減益**（2期連続） となりました。

※ 経常収益の増収は4期連続、経常利益の増益は2期ぶり、中間純利益の減益は2期連続。

豊和銀行

1．経営改善目標の達成状況

● コア業務純益の改善額（収益を示す指標）　（単位：百万円）

	2026年9月期 経営強化計画	2026年9月期 実績	経営強化計画比	達成状況
コア業務純益 ①	854	1,103	+249	達成見込み

※ コア業務純益 ＝ 業務純益 ＋ 一般貸倒引当金繰入額 － 国債等債券関係損益

● 業務粗利益経費率の改善額（業務の効率を示す指標）　（単位：百万円、%）

経費（機械化関連費用を除く）	2,737	2,808	+71	
業務粗利益	4,328	4,590	+262	
業務粗利益経費率 ②	63.23	61.17	△ 2.06	達成見込み

※ 業務粗利益経費率 ＝（経費－機械化関連費用）÷ 業務粗利益

※ 機械化関連費用は、事務機器等の機械賃借料、機械保守費、減価償却費等を計上しております。

2．中小規模事業者に対する信用供与の円滑化の実施状況

● 中小規模事業者等向け信用供与の残高・比率（業務の効率を示す指標）（単位：億円、%）

中小規模事業者等向け貸出残高③	3,168	3,198	+30	達成見込み
総資産残高	5,966	5,954	△ 12	
総資産に対する比率 ④	53.11	53.70	+0.59	達成見込み

※ 総資産に対する比率 ＝ 中小規模事業者等向け貸出残高 ÷ 総資産残高

● 経営改善支援先数の取引先企業総数に占める割合　（単位：先数、%）

経営改善支援等取組先数	386	433	+47	
取引先企業総数	5,718	5,645	△ 73	
比率 ⑤	6.75	7.67	+0.92	達成見込み

※ 比率 ＝ 経営改善支援先数 ÷ 取引先企業総数

◆ 経営強化計画の達成状況

(1) **経営の改善目標である2項目は達成の見込み**です。
- ① コア業務純益
- ② 業務粗利益経費率

(2) **中小規模事業者に対する信用供与の円滑化に関する残高・比率等の目標は3項目すべて達成の見込み**です。
- ③ 中小規模事業者等向け貸出残高
- ④ 中小規模事業者等向け貸出残高の総資産に対する比率
- ⑤ 経営改善支援等取組先数の取引先企業総数に対する比率

◆ 公式キャラクター「ほわにゃ」誕生

当行公式キャラクター「**ほわにゃ**」が誕生しました。長い耳とまつ毛がチャームポイントのねこのキャラクターです。
当行は、これから、この「**ほわにゃ**」とともに、より一層親しみを感じていただける存在となり、地域の皆さまとのコミュニケーションを深めていけるよう、取り組んでまいります。これから「**ほわにゃ**」をどうぞよろしくお願いします。

◆ 「ほわにゃ」誕生記念！定期預金

2026年10月22日より「**ほわにゃ**」誕生を記念した定期預金の取扱いを開始しました。先着2,000名様には「**ほわにゃ**」の限定チャーム付きボールペンをプレゼントいたしました。



キャラクタービジュアルお披露目。
キャラクターのお名前 一般公募開始。



お名前が「**ほわにゃ**」に決定。
正式デビュー。



「**ほわにゃ**」誕生記念！定期預金
取扱開始。



2026/7/31 ― 2026/8/31　2026/10/1　2026/10/22



キャラクターのお名前　一般公募期間

応募総数 **1,760** 件

ほわにゃ's プロフィール

- いつもそばにいてくれる「お守り」のような存在。幸せを呼ぶ「招きねこ」でもあります。
- 長い耳で、お話を聞いたり情報をキャッチするのが得意。
  ねこにしては長い耳がうさぎっぽいと言われることも。
- 大事なご資産を守るため、こっそりパトロールをするのが日課。
- 豊和の「和」＝「輪」になっているドーナツが大好物。



豊和銀行

◆ Vサポートとは

当行お取引先である**【売り手】のお客さまの商品・サービス**を**【買い手】となる当行お取引先のお客さま**へご紹介し、**【売り手】【買い手】双方のお客さま**から**「ありがとう」を集める取組み**です。さらに、近時は、**課題解決提案に加え、「一歩踏み込んだ経営改善支援」による更なる付加価値のご提供**に努めています。
当行お取引先のお客さまが、**サステナブルな経営を継続・発展できる**よう、今後もご支援してまいります。

◆ 一歩踏み込んだ経営改善支援事例 （ 建設業のお客さまの事例 ）

建設業のお客さま

売上は伸びているのに利益が残らない…
どう改善していけばいいんだろう…





豊和銀行

原因を分析し、改善のお手伝いをします！

改善提案 1

積算による精緻な見積書を作り、
適正な利益の確保を目指す

ご提供ツール

シンプルな操作性の
「原価計算フォーマット」



これまで赤字工事もあったが、
採算管理をすることで利益が残るように！

改善提案 2

5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）を
徹底し、無理や無駄を見直し、
不要な支出を減らす

ご提供ツール

5S徹底の気づきとなる
「5S改善フォーマット」



「5S」の徹底が従業員の意識改革につながり、
会社の雰囲気も良くなった！

改善提案 3

資金繰り管理を徹底し、
安定した経営を目指す

ご提供ツール

「誰でも」「簡単に」資金繰り管理ができる
「資金繰り表フォーマット」



資金繰り表の活用により、
無駄な支出がなくなった！



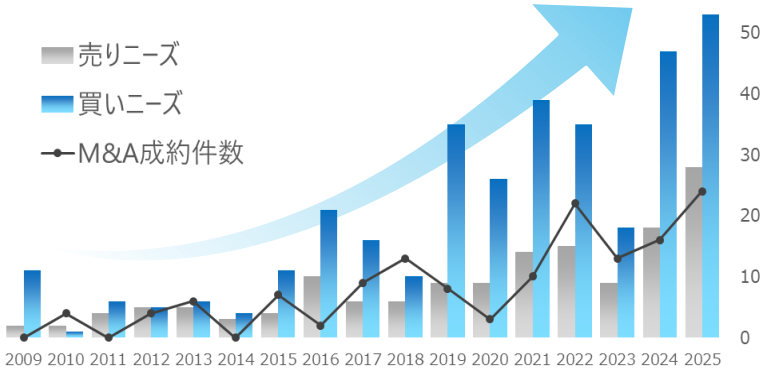
建設業のお客さま

会計ソフト等、専用システムの導入も考えましたが、コスト面や操作面で不安がありました。
豊和銀行さんが作成してくれたツールは、どれもシンプルで使いやすいので経営改善の一歩を踏み出すにあたって最適でした。ありがとう！

豊和銀行

◆ 第三者承継(M&A)の取り組み

当行の**M&A業務**における**売りニーズ**および**買いニーズ**は、近年急増傾向にあります。
当行は**大分県内の産業の発展・雇用の確保に貢献するため、県内企業のお客さまニーズに応え、ご支援してまいります。**



売りサイドのお客さま、
買いサイドのお客さま、
双方のお声に対応させていただくことで
着実にご成約に結びついております。

売りサイドのお客さまの声



- 後継者がいない…
- 人手不足で従業員を集められず、売却したい…
- 事業承継に向けて事業をスリム化させておきたい…
- 不採算事業を売って、資源を集約したい…
- 後継者はいるが他の人に任せて引き続き働かせたい…



＼ご成約／



買いサイドのお客さまの声



- 従業員規模を増やし人員配置をしたい…
- 多角化により様々なリスクを回避したい…
- スケールメリットにより競争優位性をもちたい…
- M&Aにより事業拡大の時間を短縮したい…

◆ 環境省「第7回 脱炭素先行地域」の大分市との共同提案

環境省が実施する「**第7回 脱炭素先行地域**」に大分市ならびに関係事業者とともに共同提案を行い、**大分市が「脱炭素先行地域」として選定されました。**

大分市の計画では、「**一人ひとりが適した医療を受けることができる**」まちづくりに向け、**共同提案者と脱炭素を含む包括的支援策によって「平時」「有事」「市民」の３つの視点から、医療提供体制の持続可能性の向上とレジリエンス強化の同時実現を図ります。**

平 時	脱炭素と金融の視点による、医療機関の経営安定化
有 時	電力源の複層化による、医療機関のレジリエンス強化
市 民	環境教育・防災意識の醸成による医療体制の強化

当行は**医療機関の経営課題に対する適切なソリューションの提供、脱炭素に向けた再エネ・省エネ機器等の設備投資に対する適切なファイナンスの提供**により、**地域課題の解決と脱炭素の取り組みの同時実現に貢献していきます。**

対応するSDGs





脱炭素先行地域選定授与式

◆ 宇佐支店兼長洲支店 移転オープン

2026年6月8日に**宇佐支店**が利便性の高い公共施設近隣に移転オープンいたしました。
また、**2026年6月22日**には**長洲支店**が**宇佐支店の店舗内店舗**として、**同店舗内に移転**いたしました。




テープカットセレモニー


頭取挨拶


新店舗　窓口・カウンター


新店舗　待合スペース


新店舗　外観

これからも、お取引先の利便性を第一に考え、
店舗の効率的な運営に取り組んでまいります。

◆ 富士見が丘支店 リテール店舗化

2026年10月1日より、**富士見が丘支店**を**預金・資産運用・ローンなどの個人のお客さま向けサービスに特化した「リテール店舗」**といたしました。**地域の個人のお客さまのニーズに特化**することで、**よりきめ細やかで迅速な対応**を行ってまいります。
また、これまで**富士見が丘支店でお取扱いしてきた事業性融資などのご相談は近隣の宗方支店**にて承らせていただきます。**事業性融資にかかるスキル・情報・ノウハウを宗方支店に集約**することで、**両支店でコンサルティング力の強化**を図ってまいります。

	変更前	変更後
預金・資産運用・ローン、各種お手続き	富士見が丘支店	富士見が丘支店
事業に係るご融資などのご相談	富士見が丘支店	宗方支店







◆ 当行初の女性支店長 就任

2026年10月1日、富士見が丘支店の支店長として岡野 智子が就任いたしました。
当行初の女性支店長となります。



富士見が丘支店
岡野 智子 支店長

この度富士見が丘支店長を拝命いたしました岡野です。
「女性初」という大任に身が引き締まる思いですが、
周囲への感謝を忘れずに、誠実に職務に邁進してまいります。
お客さまに寄り添い愛される良きパートナーとなり、
行員の誰もが生き生きと挑戦できる、
笑顔と活気あふれる支店を全員で創り上げてまいります！
どうぞよろしくお願いいたします。